

教科名	福祉	科目名	家庭看護・福祉【2単位】
授業形態	講義形式・実技		
科目の目標	病気の予防と家庭看護・高齢者の介護などに関する知識と技術を習得させ、家族や高齢者の健康管理とともに、家庭看護や高齢者介護の充実を図る能力と態度を育てることを目的とする。		
身に付けてほしい学力	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。		
学習計画	単元・教材	学習のねらい	
	<p>【1学期】</p> <p>1 老化に伴うこころとからだの変化と日常生活 高齢者と健康 認知症を取り巻く状況 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理</p> <p>2 家族への支援</p> <p>【2学期】</p> <p>3 障害の基礎的理解 4 生活と家事(家事と生活の理解) 生活と家事(家事援助に関する基礎的知識と生活支援) 生活と家事(家事援助に関する基礎的知識と生活支援)</p> <p>【3学期】</p> <p>5 快適な居住環境整備と介護 6 高齢者の介護</p> <p>実習 高齢者疑似体験 実習 車イスの介助 実習 食事の介助</p>	<p>・加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面などに着目した心理的特徴を理解させる。</p> <p>・高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点、及び、高齢者の疾病による症状や訴えについて理解させる。</p> <p>・介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解させる。</p> <p>・障がいの概念とICF、障がい者福祉の基本的な考え方について理解し、介護・看護における基本的な考え方について理解させる。</p> <p>・高齢者になるとどのような肉体的精神的变化があるのかを体験して学ぶ。</p> <p>・車イスの介助方法とポイントを学ぶ。</p> <p>・食事の介助方法とポイントを学ぶ。</p>	
学習評価	定期考査、小テスト、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。		
教材費	介護職員初任者研修テキスト		
その他	介護職員初任者研修修了認定に必要な科目です。		